



蒲生高校だより

第12巻 第2号 (通巻第35号)
発行日 平成25年12月20日

鹿児島県立蒲生高等学校
鹿児島県始良市蒲生町下久徳848-2
電話 0995-52-1155(代) FAX 0995-52-1161
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/

猛暑の続いた長い夏もようやく終わりを告げ、過ごしやすいく秋は瞬く間に通り抜け、冬を迎えました。4月に本校へ赴任して8か月が過ぎた今、学校生活やいろいろな行事等で君たちから多くの感動をもらいました。これから君たちがさらに飛躍することを願って、私から君たちへ期待したいことを述べたいと思います。

まず、「夢」を持って欲しいということです。小さいころにはほとんどの人が夢を持っていたと思いますが、蒲生高校へ入学して改めて将来についての夢を考え、それに向けて頑張りたい、あきらめないで欲しいということです。二つ目は、部活動でも何でもいいの

で一度しかないこの青春時代を、何かに一生懸命打ち込んで欲しいということです。そして最後は、基本的な生活習慣をしっかり身に付けて欲しいということです。あいさつや返事ができる、遅刻や早退がない、当たり前のことが当たり前にできるなどです。

これらのことを一人一人が考え、実行することで、学校全体に活気が出てきて少しずつ盛り上がっていきます。学校は皆さんの思いひとつで必ず変わっていきます。「蒲生高校を卒業して良かった」と思えるような学校を、皆さんと先生方で創っていきましょう。

教頭 阿瀧 健一



体育祭

「みんなの力を大空に 僕らの力は無限大」(藤巻美海 2-1蒲生中)のローガンの元、一体となった入場行進に始まり、最後の応援合戦まで情熱を注いだ素晴らしい体育祭になりました。8年目を向かえた集団行動の完成度も高く、授業の取組の成果を十分に披露してくれました。各学



年の特色を前面に出した応援合戦は見応え十分でした。応援の部・競技の部ともに3年生が優勝し完全優勝を果たしました。



ブログ運用について

昨年度より学校からの行事や連絡事項、配布文書など「学校の今」を携帯端末で手軽に確認いただけるようブログを更新しています。

運用開始一年を過ぎ、多くの方々に認知されつつあることに感謝しております。

通信料(パケット料金)などが発生しますが特に保護者の皆様におかれましては積極的にご利用いただければ幸いです。携帯端末にて直接URL (<http://kamou.edu.pref.kagoshima.jp>)を入力いただくか、QRコードを読み取ってアクセスしてください。



携帯読み込み用
QRコード

大楠祭

全校生徒が盛り上げるべくクラス・参加団体を通過して、連日の準備から当日まで一生懸命でした。ステージ・展示各部門でいずれも昨年に勝るとも劣らない多彩で完成度の高い内容になりました。



テーマ『心の種で満開に～笑顔と感動を届けよう～』北迫波留香(3-2加治木中)

テーマソング『an everlasting song』

『詞・曲：武原ともみ(3-1帖佐中)・小濱望由季(3-2重富中)』

最優秀賞 3-1 ステージ部門『Zi!～何事にも熱く～』

優秀賞 3-3 ステージ部門『サツマ人 シンデレラ』

審査員特別賞 2-1 展示部門『プラネタリウム』



頑張っています

・写真部…第19回九州高文連美術・工芸、書道、写真展出場(佐賀県) 日高 七海(2-1蒲生中)

鹿児島県高校写真展

特選 平山 滯(2-2吉田南中)「みんなの帰りを待ってるよ」

入選 宮下 唯(2-2蒲生中)「青春メモリアル」

入選 今釜奈津子(2-3吉田南中)「私が先よ」

入選 今釜奈津子(2-3吉田南中)「暖話」

入選 牧田わかな(3-3山田中)「懐古」



特選「みんなの帰りを待ってるよ」
平山 滯

・ワープロ部

第60回鹿児島県高等学校ワープロ競技大会

技能の部 団体3位(九州大会へ出場)

第60回鹿児島県高等学校ワープロ競技大会(新人戦)

技能の部

団体：優勝 吉住真希(2-3帖佐中) 宮田莉奈(2-3帖佐中) 東由衣加(1-3蒲生中)

個人：優勝 吉住真希(2-3帖佐中) 2位 宮田莉奈(2-3帖佐中)

・ソフトテニス部…始良伊佐地区高等学校体育大会(春季) 女子団体 第3位

・空手道部…始良伊佐地区高等学校体育大会(秋季) 女子団体形 第1位

・バスケットボール部…始良伊佐地区高等学校体育大会(春季・秋季) 男子・女子 第3位

・バドミントン部…始良伊佐地区高等学校体育大会(秋季) 女子団体 第2位

・卓球部…始良伊佐地区高等学校体育大会(春季)

男子ダブルス 第3位 黒葛野(3-3帖佐中)山口(1-3帖佐中)組

・平成25年度鹿児島県高等学校総合文化祭テーマ(標語)並びにポスター原画

優秀賞 西元菜里亜(3-1帖佐中)「文化の華 煌めく未来へ 咲き誇れ」

佳作 壹岐景一郎(3-3重富中)「～絆～未来へ繋げ 輝く希望」

【表彰：1/23(木)奄美】

・始良・伊佐地区専門高校フェスタ

デザインの部 優秀賞、テーマの部 最優秀賞 牧田わかな(3-3山田中)

・第29回三木露風賞・新しい童謡コンクール作詞

努力賞 肥後 愛梨(2-3重富中)「ただいまおかえり」

1 ただいま おかえり

一番好きな瞬間

嫌いなことも忘れちゃう

幸せなこの瞬間

優しい笑顔に包まれる

2 ただいま おかえり

一番好きな言葉

ここにしかないぬくもり

幸せなこの瞬間

優しい声に包まれる

【全国45都道府県の作品5,214編の中から選出 発表10/27(日)】

いろいろな形で、日頃の成果を発揮してくれました。ますますの活躍を期待しています。



川内原発総合防災訓練

10月11日・12日

前日の11日夕方より、無影灯を灯火に会場の準備が始まりました。蒲生高校は川内原発から30km以上の距離にある最初の大型避難施設であることが今回の防災訓練の場所となった大きな理由です。当日は早朝より、自衛隊の車両だけではなく、避難してきた大型バスなど、物々しい雰囲気でした。事態が起らないことが望ましいですが、万一に備える必要性を痛感させられた訓練の様子でした。昨年より飛来しているドクターヘリと同様ですが、かけがえない命を救えるように皆さんのご理解とご協力をお願いします。



職場体験学習

今年度の職場体験学習は、9月25～27日の3日間、始良・鹿児島両市の2市33事業所で実施された。実習先は従来の販売・接客・保育・医療・福祉関係の事業所に加え、製造業の事業所にも複数職場体験の受け入れをお願いして、例年以上に幅広い分野での職場体験学習となった。生徒にとっても進路設定へ向けてのステップアップの機会となった。



親子ふれあい校内清掃

8月24日(土)

よく晴れた土曜日の朝、生徒105名、保護者57名の参加がありました。親子で、また友人や先生と語らいながら、グラウンドを中心にテニスコートの除草作業を行いました。体育祭も無事大成功に終わりホッとしています。みなさん、ありがとうございました。

今年度から修学旅行先が関東方面に変わり、首都東京の持つエネルギーを体感する機会になりました。1日目は、横浜・鎌倉地区の観光名所である鎌倉大仏殿や鶴岡八幡宮、山下公園、横浜中華街を巡り、特に中華街での料理には嬉しそうな表情が目立ちました。2日目は、東京スカイツリー、浅草、三鷹ジブリの森美術館という東京の新旧観光名所を訪問し、スカイツリーから果てなく続く都市の景観と普段経験できない高さに歓喜の表情が目立ちました。3日目は、午前に普通科は国士館大学と日本工学院専門学校、情報処理科は参議院の見学を実施し、国士館



お台場

PTA研修旅行

10月17日(木)

秋晴れの日、保護者21名、教員2名の計23名の参加者で、都城・宮崎方面の南九州大学都城キャンパス・霧島酒造株式会社・宮崎情報ビジネス専門学校・宮崎ペットワールド専門学校・宮崎サザンビューティ美容専門学校を訪問しました。参加者からの声『遠出ではありましたが、各施設の見学・案内を受け、勉強になったうえに、昼食もおいしく、みんなで和気あいの楽しい研修旅行でした。』

芸術鑑賞会

今年度の芸術鑑賞会は、10月24日に東京芸術座の「12人の怒れる男たち ～TWELVE ANGRY MEN～」を観劇した。本校の芸術鑑賞は、「映画・演劇・音楽」を3年間で鑑賞し、感性豊かで多感な高校時代に一流の演奏や演技に接することで創造的な表現力や感性を高め、芸術を愛好する心情や鑑賞能力の伸張を図ることを目的とし、今回の鑑賞会は、熱心に鑑賞する生徒が目立ち、陪審員制度をテーマとした内容は日本の裁判員制度について考える上でも意味のある学習の場となった。



雷門

修学旅行



山下公園

大学では本校OBの小倉元政経学部長の貴重な体験談を熱心に聞き、参議院では本校OBの参議院議員の徳永氏が普段の見学では見られない議院内の施設まで紹介いただき、「すごかった。」「行ってよかった」との声が多く聞かれました。最終日は台場地区での自主研修でフジテレビや日本科学未来館、ダイバーシティ東京など班毎に希望する施設を見て回り、特にフジテレビでは、とくダネのお天気コーナーの撮影に参加できた生徒もいて、お台場での自主研修で楽しさを満喫していました。楽しく貴重な体験の多かったこの4日間は生徒の高校生活の貴重な財産になったと思います。

